

(周知および情報提供依頼)

医療チームによるコロナ禍の病棟業務支援・COVID-19 感染患者への作業療法実施事例

都道府県作業療法士会

会長各位

事務局各位

(関係各位)

平素より大変お世話になっております。

標記についてお知らせとお願いがありご連絡を差し上げております。

1. 周知お願い

コロナ第3波による医療提供体制の逼迫を受け、当協会と日本理学療法士協会では、移動や日常生活動作等に強い理学療法士・作業療法士が病棟業務の体位変換や患者搬送、更衣等をサポートすることで、効果的にコロナ第3波における看護業務を支援することは可能と考え医療チームによるコロナ禍の病棟業務支援について、基本的な考え方や留意事項、実践事例を取りまとめ以下のとおり協会ホームページ掲載しました。

https://www.jaot.or.jp/member/from_assoc/detail/373/

現場での取り組みの一助となればと考えますので、医療機関に所属する士会員の皆さまにも周知いただければ幸いです。なお、本件については厚生労働省医政局医事課・看護課より各都道府県衛生主管部(局)へ宛てて情報提供されております。

2. COVID-19 感染患者への作業療法実施に関する情報提供のお願い

当協会では COVID-19 の感染対策と作業療法実施における留意点や工夫についてを「COVID-19 感染対策 / 作業療法業務について」と関連動画として公開しています。

https://www.jaot.or.jp/covid-19/gyoumu_vol3_movie/

最近、それらの感染対策に加えて、感染者数の拡大により、感染患者さんや回復後の方に関わる作業療法士も増え始めたことから介入基準や具体的にどのような作業療法を行えばいいのかなどの知見を求める声を協会に複数いただいております。

厚生労働省からは「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き」が出されそれに類する書籍やリハビリテーション雑誌での特集、論文等も出始めていますが「COVID-19 感染者に対する作業療法」についてはほとんど情報が得られておりません。

協会では、実際に対応している現場の作業療法士へ実践事例の提供を依頼し事例集として集約・公開したいと考えております。

そこで、事例の執筆にご協力いただける方について、士会から情報提供をお願いしたく存じます。

- ・コロナ専用病床で感染患者のリハビリテーションを実施している
- ・回復後の患者を回復期リハビリテーション病棟や老健等で受け入れ、リハビリテーションを実施している
- ・回復し退院した方に訪問リハビリテーション等に関わっている

上記のような実践をしておられて、事例の執筆にご協力いただけそうな方がおられましたら、

- ・お名前
- ・ご所属
- ・ご連絡先（メールアドレス）

をお知らせください。

事務局よりご連絡をさせていただきます。

（お知らせいただいたすべての方へのご依頼とはならない可能性もありますのでご承知おきください）

協会でも情報収集はいたしますが、現場に近い士会の皆さまの方が実際の情報を持っておられると思いますのでぜひお力をお貸しいただければ幸いです。

1月28日（木）くらいまでに情報いただけるとありがたいです。

以上につきましてよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本作業療法士協会 事務局

〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル7階

TEL: 03-5826-7871

FAX: 03-5826-7872